

## SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 2 月 3 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
事業活動を通じて社会におけるリユースを促進する。 障害者の一般企業への就労及び継続的な自立支援を行い地域で安心して暮らせる 持続可能な社会の実現に貢献する			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
社会に必要な知識とコミュニケーションを学びながら職員が遊び心を持ち利用者と共に成長していく 障害の有無に関わらず質の高い教育の提供を目指す			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022年12月31日までの取組目標
	新規事業が新年度開始できるように年度末までに準備を整える。B型事業書における工賃20,000円を稼げている利用者を7人にする	事業としては立ち上げてはいないが、お菓子作りに挑戦し露店での販売を行った。B型事業所における工賃20,000円を稼げた利用者は7名達成できた。	中期計画の策定から新規1事業の実行B型事業所の平均工賃20,000円を目指す。
	子供食堂以外でも支援出来る団体に寄付等の支援を1件以上行う 状況を見ながら子供食堂の実施1回以上行う	コロナの影響で子ども食堂の実施は出来なかったが、イベントとして2回、廃棄食材に特化したおやつや軽食を提供した。 寄付は出来なかったが協賛は1件以上行った	子ども食堂の開催（コロナの状況による） 食品ロスを意識したおやつ作り（放デイ）
	利用者への面談での健康面についての確認は継続していく。休みがちな利用者に対して毎日出勤できるように健康面以外の精神面にも支援の継続を行う。感染予防の徹底継続	面談は一人月一回は必ず行い健康チェック、運動を促したり服薬の確認は行った。感染予防は100%毎日行った	利用者への月一回の面談100%の継続 感染予防徹底 100%継続
	レクリエーションでの体験をご父兄や地域に知ってもらう発表の場を設ける。自然に触れる機会を増やし利用者の心身共に情緒を安定させ質の高いレクリエーションの向上を目指す	森活動では、自然の力を最大限に感じ、触れ合うことで五感を刺激した活動ができた。また、日々の取り組みとして個々が達成感や成功体験を積み重ねることができるよう配慮し個々の成長を促した。	月1回の美化活動の実施 月1回の森活動の継続 利用者様を交えたプログラム会議の実施
	女性が働きやすい環境の改善を1つ以上設定する。（子育て、介護において）	女性管理職率は100% 子育て世代には特に子供の行事は優先し休みを取得してもらった	女性管理職1名排出 女性の子育てと仕事のバランスを図る（子供の用事優先に休暇取得100%）
			事業所の無駄な電気を使わない（使用していない部屋の電気はこまめに消す、エアコンの温度を1度夏は高く、冬は低く設定をする
	今年度目標数値の達成の為にPDCAのスピードを上げる。障害者の一般企業への雇用。ディーセント・ワークを目指す	月別活動書をもとにPDCAの実行は行ったが達成率は全体の40%ほどである。一般企業就労には5名排出した。	月別活動書の達成率を80%以上にする 就労者排出5名以上を目指す。 ディーセントとワークスの実現
	利用者全員の権利擁護促進のために職員の支援力の向上を図る。	SDGsポスターの掲示。平等な就労機会を作れるように研修参加により支援の強化を行った	差別のない支援強化のための研修受講は継続（一人1回以上）
	美化活動の継続 ICT化の実現によりペーパーレス現実化を目指す。（6月～）	レクリエーションの一環で美化活動を取り入れた。ペーパーレス化は進んでいる。	美化活動を年4回実施 地域イベント年4回開催または参加 ペーパーレス継続
	リサイクル商品の廃棄を削減の実行 リユース促進を継続、拡大（店舗拡大）	中古品の清掃を行い販売につなげて、ごみの削減を図った。 古着店1店舗を開業した。	リサイクルショップ販売促進（イベント参加） ごみの削減10%を目指す
		マイボトル、マイバックの推奨 ごみの分別	マイボトル、マイバックの徹底100%
	継続させるために畑の手入れ、新しい作物の作付準備。クリーン作戦の中で外来種侵入の防止活動にも参加する	畑作業を行い収穫した野菜で料理を実施、実食。廃棄食材となる野菜や果物を使い、SDGsを学びながら食した。 外来種侵入防止活動には参加できなかった	畑作業の継続。廃棄食材を減らし食の大切さを学ぶ。 紙のリサイクルに努める

16	福利厚生の実の増加。イベント等で地域のコミュニティの場を設ける。	各事業所の福利厚生として月一回のランチ会、または昼の支給を行った。コロナにより定期的の開催は難しかったが食事会によりコミュニケーションを図った	利用者、職員満足度調査により業務改善を行う ランチ、昼食支給継続、可能な限りの飲み会にケーション開催。
17	しずおかのローカル指標づくりプロジェクトに参加を継続（参加人数増加）。パートナー企業2事業所確立	外部のSDGsセミナーへの参加。しずおかのローカル指標づくり”まあるいしずおか”会議に月2回参加。企業との連携の中で11月のお祭りに参加して頂いた。	パートナー企業との連携（イベント参加年4回以上）まあるいしずおか会議参加月2回継続。パートナー企業プラス4社以上
その他		各事業所ごとにSDGsの取り組みポスターを掲示。SDGsカードゲーム研修により職員の知識と学びの場を図った。	各事業所のSDGsの取り組みの振り返り（四半期ごと）

(記載上の注意)

- 1 取組目標は**3つ以上のゴール**について**目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	株式会社 アレミティ	
2	業 種	本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	5 事業所
3	従業員（構成員）数	12. 医療、福祉 41 人	
4	代表者 職・氏名	職 名 氏 名	代表取締役 原田 昌樹
5	所 在 地	〒 422-8054 静岡市駿河区南安倍3丁目12-4	
6	ホームページURL	http://www.aremiti-support.net	